

猪名川上流広域ごみ処理施設
環 境 保 全 委 員 会

第 6 2 回委員会会議録

令和2年10月9日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会 第62回委員会会議録

1. 日時：令和2年10月9日（火） 18：32～19：30

2. 場所：川西市役所 4階 庁議室

3. 出席者 (◎委員長、○副委員長)

学識経験者	◎吉田 篤正	大阪府立大学大学院工学研究科教授
学識経験者	中嶋 鴻毅	元大阪工業大学情報科学部情報メディア学科教授
学識経験者	原田 正史	元大阪市立大学医学部准教授
学識経験者	服部 保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所名誉教授
学識経験者	○尾崎 博明	大阪産業大学工学部都市創造工学科教授（欠）
学識経験者	渡辺 信久	大阪工業大学環境工学科循環基盤工学教授（欠）
周辺地域住民代表	清水 正克	国崎自治会（欠）
周辺地域住民代表	鈴木 啓祐	猪名川漁業協同組合（欠）
周辺地域住民代表	北野 正	黒川・新滝地区
周辺地域住民代表	倉脇 也寸志	田尻下区
周辺地域住民代表	久保 文昌	野間出野区
組合区域住民	熊谷 禮司	川西市在住
組合区域住民	武田 亮一	川西市在住
組合区域住民	村瀬 吉孝	川西市在住
組合区域住民	中津留 俊夫	猪名川町在住（欠）
組合区域住民	鶴田 勇氣	豊能町在住
組合区域住民	植村 正	能勢町在住
関係行政職員等	木下 勝功	阪神北県民局
関係行政職員等	中原 忠義	水資源機構
関係行政職員等	中塚 直美	川西市
関係行政職員等	澤 宜伸	猪名川町
関係行政職員等	星原 健男	豊能町
関係行政職員等	前田 博之	能勢町
事務局	茨木 実	施設組合事務局長
事務局	栢川 隆雄	施設組合事務局次長兼総務課長
事務局	中村 勤	施設組合事務局施設管理課長
事務局	樋口 大造	施設組合事務局総務課主幹

+

4. 配付資料

- ・排出源モニタリング
 - ①大気質（排ガス）（資料2-1）
 - ②水質（資料2-2）
 - ③処分対象物（資料2-3）
- ・環境モニタリング
 - ①動物調査（ヒメボタル）（資料3）

5. 次第

1 議事

(1) 環境影響調査結果について

2) - 1 排出源モニタリング

- ①大気質（排ガス）（資料2-1）
- ②水質（資料2-2）
- ③処分対象物（資料2-3）

2) - 2 環境モニタリング

- ①動物調査（ヒメボタル）（資料3-1）

2 その他

開 会 19時30分

○事務局

皆様、こんばんは。定刻になりましたので、第62回猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会を開会させていただきます。

本日は、大変お忙しい中、環境保全委員会にご出席を賜りまして、まことにありがとうございます。

まず初めに、本年3月、また6月に予定しておりました環境保全委員会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策といたしまして、急遽中止をさせていただいたところでございます。

今回につきましては、コロナの感染症予防といたしまして、マスクの着用と手・指の消毒、体温測定、換気をさせていただきながら進めてさせていただきたいと考えております。また、スムーズな会議進行に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

議事に先立ちまして、委員及び事務局のほうに異動がございましたのでご紹介をさせていただきたいと思います。なお、令和2年4月1日現在の委員名簿を机のほうに配付させていただいておりますので、そちらのほうもご参考に見ていただけたらと思います。

まず、関係行政機関でございますが、水資源機構から中原様にご出席を賜っております。

○委員

4月から一庫ダムに参りました中原と申します。よろしくお願いたします。

○事務局

また、川西市から中塚様に参加していただいております。

○委員

私も4月から環境衛生課でお世話になっております。中塚と申します。よろしくお願いたします。

○事務局

豊能町からは星原様に就任していただいております。

○委員

4月から豊能町の環境課長に就任しております。よろしくお願いたします。

○事務局

続きまして、事務局の異動につきましてご報告をさせていただきます。

施設組合の事務局長といたしまして、茨木が就任いたしております。

○事務局

茨木でございます。今回、初めての会議となりますけれども、どうぞよろしくお願いたします。

○事務局

また、総務課の主幹といたしまして、樋口が就任しております。

○事務局

樋口でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局

以上でございます。どうぞよろしくお願いたします。

続きまして、委員の出欠の報告でございます。学識経験者の尾崎副委員長と渡辺委員のほうから、本日は欠席というご報告をいただいております。ほかの委員につきましては、欠席という報告をいただいておりますのでおいおい来られると思いますので、すみませんがよろしくお願いたします。

また、本日は施設の管理運營業務を委託しておりますJ F Eエンジニアリング株式会社と

+

環境影響調査業務の委託事業者であります中外テクノス株式会社からも職員が出席しておりますのでご報告させていただきます。

続きまして、資料等の確認をさせていただきます。まず、会議の資料につきましては、事前に郵送のほうをさせていただいております。もし、お忘れであれば言っていただければ、こちらのほうから配付させていただきます。

まず、本日の次第がございます。次に本来でしたら資料1といたしまして、会議録というのがあるのですが、前回、前々回がなしとなっておりますので、その分はございません。資料2から始まるという形になります。A4の1枚もので第62回環境保全委員会調査結果の概要というものがついてのものがございます。その後ろにホッチキスどめで資料2と資料3が1冊になってございます。環境影響調査、排出源モニタリング資料として資料2-1大気質中間報告、それから資料2-2水質中間報告、資料2-3といたしまして処分対象物中間報告、資料3といたしまして動植物調査中間報告（ヒメボタル）となっております。そして、その後ろに写真集という形で冊子にしてございます。次に、資料4といたしまして、気象庁降雨量データという形になってございます。資料等の確認は以上でございます。不足等がございましたら、おっしゃっていただければと思います。なければ委員長のほうに議事の進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

◎委員長

それでは、議事のほうを進めさせていただきたいと思います。マスクをしているので声がかかっているのか分からないんですけども、先ほど説明がありましたように、コロナの関係で対面式の会議を2回していないので、その分については議事録はもちろんこの会を開いていないのであれですけども、書面のほうで多分したことになっているんですよね。ですので、ちょっと何か記録は少し残していただかないと、対面式の会議は開いていませんけれども、書類で前回、前々回についてはそれぞれの関係者の委員の方にお送りいただいて、それについての質問等は多分それで一応修正等はされているものかと思いますが、書面審議という形で多分いただいておりますので、今回はその後の部分につきましては報告をしていただくということで、ちょっと議事録というのか何と言うのか分からないんですけども、少し記録を残すような形にさせていただきたいと思います。

それでは、議事のほうに入らせていただきます。まず、一つ目の環境影響調査結果についてということで、事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、環境影響調査結果について、ご説明させていただきます。

まず、調査結果の概要といたしまして、今回報告させていただきます排出源及び環境モニ

タリングの調査結果を取りまとめております。なお、今回の排出源及び環境モニタリングの調査結果につきましては、事務局で結果を見る限り注意を必要とするようなポイントは見当たりませんでした。

まず、環境影響調査の排出源モニタリング結果について、資料に沿ってご説明をさせていただきます。

資料2-1の大気質（排ガス）中間報告をご覧ください。2-1の1ページに調査内容と調査結果の概要を、次のページ、2ページから8ページは調査結果となっております。2-1の2ページに戻りまして、排ガス全般の調査につきましては、令和2年4月21日と6月16日に実施いたしまして、調査した全ての項目において、自主基準値以下となっております。

連続監視結果につきましては、3ページから8ページにかけて焼却炉1号炉及び2号炉の、ごみ焼却量、窒素酸化物、二酸化硫黄や一酸化炭素などの連続分析測定の日平均の値を記載しております。特に異常となるような値は検出されておりません。なお、焼却炉の立ち下げ時及び立ち上げ時につきましては、通常とは異なる燃焼状態のため、一酸化炭素（CO）濃度が高くなります。

ページ少し飛びまして2-3の5ページをご覧ください。こちらに、排ガス調査におけるダイオキシン類測定値変動グラフをつけております。グラフの下には1号炉及び2号炉の活性炭交換時期を記載しております。

2番目に水質調査でございます。資料2-2をご覧ください。2-2の1ページには調査内容と調査結果の概要を、次のページ、2ページには下水道放流水の調査結果を、3ページは雨水排出水の調査結果を、4ページに盛土浸透水の調査結果を、5ページには図1として、それぞれの採水地点を示しております。

2-2の2ページに戻りまして、下水道放流水の水質につきましては、令和2年4月10日、5月11日、6月4日に調査を行い、全ての項目において基準値以下となっております。雨水排出水及び盛土部浸透水の水質につきましては、令和2年4月13日に調査し、全ての項目において、参考値（水質汚濁防止法排水基準値）以下でございました。

3番目に処分対象物でございます。資料2-3をお開きください。2-3の1ページには調査内容と調査結果の概要を、2-3の2ページから4ページは調査結果となっております。

2-3-3ページをお開きいただきまして、大阪湾フェニックスへ埋立て処分をしているもの（大塊物・磁性灰）につきましては、全ての項目で判定基準値以下でございました。

2-3-1及び2-3-3ページに記載しています、溶融飛灰固化物及びそれを構成しております脱水汚泥と溶融飛灰につきましては、山元還元業者に引き渡していることから基準

の適用はございません。溶融スラグにつきましては、土木資材などとして売却しております。

環境影響調査の排出源モニタリング結果についてのご説明は以上でございます。

◎委員長

ありがとうございました。今、大気質、水質、処分対象物ということで、続けて説明のほうをいただきましたが、何かご質問はございますでしょうか。あるいは指摘しておくこととか。

よろしいでしょうか。とくにありませんか。

コロナになってから多分家におられる方が結構多いと思いますけれども、ごみの量とかあるいはごみの中というか質というのはそんなに変わらないものですか。影響はどんな感じでしょうか。あんまり議題と直接関係ないかも分からないですけども。

○事務局

ごみ質につきましては、大体、今通常どおりということで特に大きな変化はございません。

◎委員長

ごみの量自体も特に変化は。多くなったということはないですか。

○事務局

そうですね。ごみとしては大型粗ごみですか。皆さん、家におられるので家のお片づけをして、その分が入ってくる量としては若干増えていますけれども、全体としてはさほど変わっておりません。#

◎委員長

はい、分かりました。あまり大きな影響はなかったということで分かりました。

ほかに何かございますでしょうか。

○事務局

今日欠席されております渡辺委員のほうからご意見といいますか、今回のに限らず前回の資料を見てちょっとご意見をいただいた分がありますので、ちょっとご紹介をさせていただきます。

内容はダイオキシンの排出・移動量のデータについて、いま一度見直しをしてほしいというご意見がございました。その中で、排ガス処理用活性炭に捕集されるダイオキシンが平成29年度で0.1141という数字が、平成30年度が0.3578、そして令和元年度になりますと0.5305という形で増加傾向にありますと、この分を気にしております。このデータはいつから取りまとめておられますかということのご意見をいただいております。

それに対しまして、こちらのほうから一旦事務的な処理もございますので回答させていただいております。このダイオキシンの排出・移動量のデータは、平成25年度から取りまと

めをしてございます。そして、平成25年度には0.2056、26年度が0.0686、27年度が0.0470、平成28年度が0.2968という形で数値がなっております。増加傾向という形のご意見をいただいておりますが、数値が上がったり下がったりしているということが一つの現状であるということと、確かに29、30、令和1年という数だけ見れば、数値が少し上がっているというご指摘をいただいております。このご指摘をいただいておりますように、変動はあるのですがこの数字につきましては数値のほうが上昇している状況にありますことから、焼却施設の運営に関しまして今後とも気を引き締めて注視してまいりたいということ、ここでご報告させていただきたいと思っております。

以上が、最初の分のダイオキシン関係の分についてのご意見をご紹介させていただきました。

◎委員長

ありがとうございました。上がったり下がったりはしながらでも少しずつ長期的に見たら上がっていく傾向になっているという、そういうことですか。今説明していただいたのは。

○事務局

結果的な数値としてはそういう形になっております。

◎委員長

その原因とかいうのは何か設備の問題とか、あるいはごみの中は変わらないと思ったんですけども、そちらのほうの問題とか何か考えられる、気にしながらやっていただくのはいいですけども、何か原因がある程度少し推定ができていないと、それが正しいかどうかというのは少し確認は多分されないといけないと思うんですけども、幾つか仮説であってもいいんですけども、こういう可能性があるというあたりのところは何か今日の一連で何か説明いただけるのがありますでしょうか。

○事務局

この数字は、通常報告させていただいているダイオキシンの総排出量の2マイクロに関係し報告させていただいているんですけども、それに集計しない活性炭に吸着された量の話をしてるので、排ガス自体に排出しているダイオキシン量につきましては低い値で推移していると、活性炭のほうに含まれているものが徐々に高くなってきているというご指摘でしたので、それにつきましてはある程度活性炭の能力が発揮できているということで、これが大気もつられて上昇してきますと、ちょっと危ないなという気をつけないといけないなということは考えているわけですけども、今のところ排ガスのほうについては特に変化がないと、あとは技術的なこととなりますのでほかに比較するものがないので今のところは気をつけてちょっと注意して見ていきたいというふうに考えております。

+

◎委員長

外には出ていっていないということだと思うんですけども、その手前のほうで一応活性炭のほうでそこで除去されているというか、そこで捕まえられているということにはなっているんですけども、やはり内部での処理、焼却の問題だと思いますので、そのあたりで増えていっているという中でプロセスで多分少し何か原因があるのか、あるいはそれほど気にしなくてもいいぐらいの量なのかというあたりは、ちょっと今日すぐに結論を出すのは難しいかも分かりませんが、今日の時点で何かそういう技術的なことでコメントいただけるのがあったらいただきたいと思います。なければ少し時間をとって次回でも結構ですので、大事な話かと思しますので回答をいただければと思います。どうぞ。

○事務局

今の時点ですけれども、今実際に定期点検中で、今日現在の活性炭の調査をして今後また報告させていただくことになると思いますけれども、現時点では安定燃焼もしておりますし、温度管理、焼却炉内850度を維持させていただいておりますので、特に運転を操作で新しく濃度が高くなったというのはちょっと考えにくいと、その辺はまたちょっと原因のほうが今のところつかめてございませんので、今後とも注視しながら研究していきたいと思っております。

◎委員長

ほかの焼却場などではこういうデータをとられているかどうかという問題だけど、これが書かれているかどうかという問題があるんですけども、その参考になるようなものというものはあるのでしょうか。なかったらこちらのほうで独自で考えていかないといけないと思うんですけども、そのあたりいかがでしょうか。

○事務局

こういった形で活性炭の吸着量のデータというのは、ほかでは測定していないということ、あまり比較するものがないというのが正直なところです。

◎委員長

分かりました。そうしたら、ちょっと少し考えていくしかないというか、ちょっと時間をかけてでもいいので、あるいは傾向的に少しずつ増えていくのはあんまり気持ちがよくないと思いますので、量的なものを含めまして少し検討いただいて、次回でも次とられる分のデータも含めて報告をいただければというふうに思います。よろしいでしょうか。

委員の方から今の件、何かご質問とかあるいはご指摘などございますでしょうか。

よろしいでしょうか。ほかに何かございますか。

よろしいでしょうか。

なければ、続きまして環境モニタリングにつきまして、ご報告のほうよろしくお願ひいたします。

○事務局

それでは、環境モニタリング結果についてご説明いたします。

動物のヒメボタルでございます。資料3をご覧ください。資料3の1ページには調査方法及び調査日を、2ページには図1として調査地点位置図を、3ページに調査日の気象条件を、4ページに調査結果を、5ページから9ページには考察を、3の10ページから19ページには現地写真をつけております。ヒメボタルの調査は、平成17年から毎年実施し、今回で16回目となり、令和2年6月23日に調査を実施いたしました。

4ページをお開きいただきまして、定点調査では、合計492個体のヒメボタルが確認されております。調査時間帯は発光個体が多く見られる午後11時頃から翌午前2時頃に実施いたしております。

また、任意調査では、来年度から施設北西側の区域において新たに定点調査を計画しており、定点地点選定のため15地点において個体数の調査を実施いたしました。合計で142個体を確認しており、今回の結果を基に定点の選定を進めてまいります。

3の8ページをお開きいただきまして、ヒメボタルの分布状況といたしましては、施設周辺に広く分布しており、林内のほうが多く個体数を確認しています。林縁に近い地点では個体数が少ない傾向が見られ、要因といたしましては、土壌の乾燥化、マント・ソデ植生の衰退による遮光機能の低下等が考えられます。

3の9ページの経年推移といたしましては、確認年度により個体数に増減が見られますが、長期的な減少傾向は認められません。

環境モニタリング調査結果についてのご説明は以上でございます。

◎委員長

ありがとうございました。今ご説明したことでご質問あるいはご指摘いただくことはございませんでしたか。

これは年によって測定したときに応じて多分かなり増減というか差が大分あるんですけども、これは天候の関係とかその辺のところですか。

○事務局

天候もそうですが、日程も1日で確認するものですからその前後の日ですか、そういうのは計算には入っておりません。

以上です。

◎委員長

ありがとうございました。何かご質問はございますでしょうか。

○委員

この3-9の赤い色は何か意味があるのですか。ヒメボタルの。

○事務局

今回通常でしたら定点観測をしているんですけども、今回は違う場所を選定するという
ことでいろんな場内のあらゆるところ確認させていただいて、今までのカウントの仕方とは
若干違うということで分かりやすく色を変えたということです。

◎委員長

ありがとうございます。ほかに何かございますでしょうか。

特にございませんでしょうか。

○事務局

今回の資料だけとは関係ないかもしれないのですが、本日出席もいただいているのですが、
服部先生のほうからご意見をいただいておりますので、前回の資料等についてのご意見とい
うことで紹介させていただきます。

植生の状態が毎年悪化し、斜面の崩壊、倒木も多発しているようです。ミツマタの植栽な
ど部分的に植生保全対策を実行されているようですが、全体的な植生状況や鹿の発生状況の
調査が必要だというふうに思いますと、ゆめほたるの委員会で森林動物の先生がボランティ
アで調査していただいているようですが、きちんと予算をつけて調査を行う時期に来たと思
います。大規模な斜面崩壊が発生してからでは遅いので、植生専門家としてお伝えしますと
いうことでご意見をいただいております。

これに関連いたしましては、うちのほうの予算であるとか周辺的环境も含めてちょっと検
討していく必要がございますので、その辺はちょっと前向きな方向での検討をさせていただ
きたいと、ちょっとすぐに答えという形にはならないんですけども、考えていきたいとい
うふうに思っております。

◎委員長

今、検討いただいているということですかね。進行形という状態ですか。

○事務局

何が一番いいのか分からないんですけども、できる限り努力はしていきたいと思っ
てお
ります。

◎委員長

委員、何かございますか。

○委員

先ほど委員長も言われたんですけれども、前回、前々回の委員会の在り方ですね、それが全然はつきりしないで資料を送ってきてどうしたらいいのかということで、とりあえず僕は自分の意見を書いて出したんですけれども、出しても何も返事もなかったし、先ほど委員長が言われたように、コロナで委員会はやりませんでしたというような形で済まないと思うんです。一応書面審査が何かというのを初めに手紙の中で入れて、しますということで意見を求めるという形がなかったと思うんですけれども、だから今から言ってもあれなんですけれども、今後またこういうことがあるのであればちゃんと書面審査みたいな形で決められておいたほうがいいのではないかと思います。

それと、今日僕のやつを発表していただきましたけれども、やっぱり委員から何か来たらそれに対してせめて受け取ったとかというような形の返信があると思うんですけれども、全然出したら出しっぱなしで何もなかったということになってしまうので、僕は必要だと思えます。

以上です。

○事務局

すみません。いろいろとご迷惑をおかけしたと思います。委員さんにおいても何もなかったのかというようなこと、結果的になってしまいましたので、以後こういうことがあるとすれば一旦そういう意見を徴取して、それに対する組合の意見を付して皆さんにお伝えするというような形で進めさせていただきたいと思えますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

◎委員長

後ほど会議の進め方については今回のコロナの件もありますので、今後のこともあるので少しお話ししようかと思ったのですが、また後で少しその辺の進め方についてはご相談させていただきたいと思えます。

先ほどの渡辺先生のほうからご指摘いただいたのは、これは渡辺先生のほうには回答はどんな状態なのでしょう。

○事務局

意見をいただいた部分と欠席の連絡がありましたので、一緒に一旦回答としてはさせていただきます。

◎委員長

分かりました。環境モニタリングにつきまして、何かほかにご意見、あるいはご指摘していただくことはございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、議事の報告については終わりです、その他は何か事務局のほうで具体的なものがございますでしょうか。

○事務局

今回の分につきましては特段な分はございません。次は12月に開催していきたいと思っておりますので、その辺のご報告はしたいというふうに思っております。

◎委員長

それでは、ちょっと先に出てきていました会議の進め方を、今までの経緯も含めまして、ちょっと確認を含めてご相談をさせていただきたいと思います。

コロナの関係で集まって通常の対面式の会議、それも人数が多い会議というのはなかなかちょっと開催が難しかったので、今回もどうするかという話があったんですが、冬になるとまたひどくなるかもしれないという予測も出ていますし、ちょっとどうなるか分かりませんが、それと今全部収まっているわけではないですが、以前に比べると少しましになっているかなということで、どういう形でやるかは事務局のほうに検討いただいたんですが、出てこられない方がおられるということであれば、オンラインということも含めて少し検討いただきました。

前回、前々回につきましては、先ほど服部先生のほうから少しご指摘がありましたように、本来であれば委員会に代わるものになるので書面審査という形をきちっととらないといけないので、資料のほうは送っていただいているのでどういう状況であるかということは私も含めまして各委員の方におかれても多分データとして数字としては見ていただいていると思いますし、それに対してご意見があったら多分事務局のほうに返していただいているのではないかと思います。ただそれ自体がどういう意見があってという形でそれを全体のところに少し返していただくような形で書面審査なので、どういう形で進めていただくかちょっと考えていただかないといけないのですが、議事録に当たるものに相当するものを書ける程度ぐらいの状況というか進め方にはしておいていただきたいと思っておりますので、結果としてはちゃんとした手続を踏んでないような形になってしまっていますので、この会としては結局二回、どちらにするか微妙なんですけどやっているとやられても仕方がないような状況になっていますので、であれば今日なるべく短い時間で議事を進めるということがこの状況だと必要かと思いますが、前回、前々回の分につきましても、簡単に少し状況についてのご報告を今回いただいていたほうがよかったかなと、ちょっと思ったりもします。ちょっとこれはどういうふうに進めていくかという問題、今後のことも考えると今日は対面だと出てこられないという方はおられたんですか。どういう状況ですか。それとも皆さん、ご都合のほうで出てこられないだけなんですか。どんな状態ですか。

○事務局

住民の代表の方々にそれぞれ電話させていただいて、確認させていただきました。パソコンがないとかズーム等のやり方が分からないということもありますので、できれば対面のほうがいいという話もございましたので、ズームとか使った場合はこちらのほうの準備とか機械的なものというのが少し追いつかなかった部分がございます、現段階では今の住民さんのご意見を聞いた中で対面式のほうを選ばせていただいたということになります。

◎委員長

それと今日のご欠席ですけれども学識経験者の先生方、あるいは今日来られていますけれども市町村とかいろんな委員をしていただいている方についてはどんな感じですか。特にこういう形で出席いただける状況、いま少し収まっているというのがちょっとあるんですけれども、出席いただけるような状況ですか。その辺のところ、せっかく今日来ていただいているので、その辺のところも把握しておいたほうがいいかなと思うんですけれども、その辺は事務局は大体そういった把握はされていますか。

○事務局

一つは、この市役所の中でもこの部屋を使って会議をしている会議があります。それもそんなに長時間ではないんですが、この部屋の中でやっているという部分、人数も今の大体これぐらいの人数でやっているというのがあります。以前に比べるとコロナに対する予防といたしますか、換気であったり、手・指の消毒とか体温の測定なり、そういったものをして体調が不調であるという方は除いて会議のほうをさせていただいている部分もあるということです、今回についてもできるだけ短時間で予防のできることをやって、一定の予防も含めてできるのではないかとというふうに考えております。

◎委員長

そうしたら、特に対面式だから今日は出てこられなくて欠席されているという方はおられないというふうに理解してよろしいですか。

○事務局

はい、欠席として聞いておるのは最初にご報告させていただいた尾崎副委員長と渡辺先生のお二人だけです。

◎委員長

分かりました。現状であれば大学とか、あるいは組織によっては対面ができないというケースもあつたりしますし、会社とかでも民間の会社とかと打合せする場合もちょっとそういうことを言われたりするケースも今でも少しあるので、少なくともこのメンバーの中では特にそういう方はおられないという理解でよろしいですか。分かりました。

それで、どういうふうこれから推移していくかは私も全然専門家でないので、専門家でも多分分からないかもしれませんが、また少し状況としては悪くなるケースというのはやっぱり想定しておかないといけないと思うんですけれども、その場合に進め方としてはみんな集まらないとするのであれば全部オンラインにしてしまうということなんです、その設備とか環境がないという方が多分おられる可能性はあると思いますので、会社とかあるいは官公庁も含めてなんですけれども、使うソフトが多分指定されたりとかこれは駄目とかこれはいいかいというのがあったりして、結構面倒くさい状況になったりするケースも聞いていますので、その辺も含めて対策だけはこういう形でできないということをやっと想定をして、ただ書面審査が1回ぐらいだったら多分いいかも分からないですけれども、あんまり続くのもちょっとどうかなと思いますので、やると言っても案としてはオンラインで何かすることぐらいしかちょっとすぐに思いつかないんですけれども、その場合でしたら設備を持たれていない方でしたら別の場所、そういう設備があるところに来ていただいて少人数であればそこに少しいていただいて、それ以外の者は多分設備を持っている人はそのパソコンを使いながらという形になると思うんですけれども、何らかの方法、対策を少しさせておく必要があるかなと、そういう状況にならなかつたら幸いなんですけれども、そういう状況になってもある程度やっぱりこの会議、委員会としては機能するというか、最低限の仕事はやっぱりしていけないといけないと思いますので、それができるような形で準備というか検討のほうを少ししていただいたほうがいいのではないかなというふうに、私個人的にはそう思っているんですけれども、今、学会とか大学なんかの委員会でもなかなかこういう大きな規模になるとなかなか、うちの大学でも会議は開いていなくて全部オンラインになっていますし、授業のほうは少しいろいろ各大学、今ちょっとばらばらですけれども、実験とか実習は一応対面式に多分大分戻されていると思うんですけれども、普通の座学の座って聞く講義についてはまだ全部多分戻されていないと思いますので、そういう状況でそれがいつまで続くのかちょっと分かりませんし、またぶり返して少しひどくなったりするというケースがあると思いますので、少し具体的に、次にやるのは予定では12月ですかね。

○事務局

はい。

◎委員長

それまでに少しどういう形にするか、そのときまで今の状況がずっと続くのであれば同じ形で少し気をつけながらやれば、大分どういうふうになればいいかということについては情報もきちっとはっきりしてきていますし、今日も窓を開けてされていますけれども、今度12月になると寒くなるのでちょっとあれなんですけれども、換気というのがなかなか難しい

状況になるかも分かりませんが、どういうふうにすればいいかということでそういうのを防ぐ手段としてはある程度、皆さん大体共通できるような形にだんだんできてきているかなと思いますので、それで完全に絶対大丈夫ということはないんですけども、それを言っているとなかなかずっといけないので、やらないといけないこと、決められていることはきちっとやるという前提のもとで開催をできる状況であれば開催をこの形でしていただくということで、できないという状況であればその場合も対応できるように検討のほうを少ししていただきたいと思いますが、何か既に検討されているのであれば今日お話していただければと思います。これからもうちちょっと検討するというのであれば、至急ちょっとご相談いただいているということになると思います。

○事務局

一応ズーム等のテレビ、パソコンを使ってできるようにということで何とかしようと考えているところでございます。

ただ、先ほども言っていますように、パソコン等を持っておられない方がおられますので、持っておられる方はそれぞれのお家であったりとか、職場のところから参加していただくのが一つ。持っておられない方についてはどうするのかという部分で、一つは例えばここに来ていただいて市役所に来ていただいて、何人かと一緒に画面を見ていただくという方法を取るのか、いや、そうじゃなくてクリーンセンターのほうに来ていただいてするのかということで、それぞれ住んでおられるところもまちまちですので、その辺がちょっと一つ、集まってもらってというのは難しいのかなという部分があるのと、それぞれに人を張りつけて何かあったときの応援する職員というのがちょっと人が足りないもので、どこか一カ所に来ていただけたら何とか対応できるのかと。また市役所の職員とかにも応援していただいたりとかしていかないといけない部分が出てきますので、その辺のちょっとまだ調整とか市役所そのものもこういう大きな会議がまだあまりないようですので、その辺はちょっと様子を見ながら進めたいと思っています。

ただ、できる方向で何とかならないかなということは今、進行中ではございます。またその辺が決まっていけばちょっとまたご相談させていただきたいと思います。

◎委員長

ありがとうございます。直近多分12月というちょうど寒くなる時期なので、ただ皆さん多分、消毒したりとかうがいされたりとかいうので、多分インフルエンザは言っているほどはやらないかも分かりませんが、そういうので少し予想されているよりもひどくならなかったら幸いなんですけれども、ちょっとどういう状態になるかは分かりませんので、オリンピックのこともあって多分今海外から人を受け入れようという形にしていますので、そ

ういうのも含めているいろんなガイドラインとかありますので、最終的にどういう形になるか分かりません。対策というか、それだけは少し知っておいていただきたいなというふうに思います。

それと、先ほど指摘が出ていましたけれども、前回と前々回につきましては、少しきちっと書面審査という審議という形がとれるような状況で、ちょっと後追いになるかも分かりませんが、少なくとも形だけと言ったら怒られますけれども、少なくともこの委員会としての書面審査というので、これは開いたという形にしていいのかどうかちょっと微妙ですけども、どういうふうな対応をとっていただくか、それも含めて検討いただいて次のときの議事録にはそれをちょっと入れていただくと、ご報告もいただいて、議事録にもそのことに触れていただくような形でご報告と併せて、ここでのこういう全員での合意を得たことを少し入れたいと思いますので、よろしいでしょうか。ちょっと面倒くさいことを言っているかも知れませんが、こういう会議ですので住民の方にも参加していただいておりますのできちっと報告をしておく必要がありますし、審議もきちっとやっておく必要がありますので、エビデンスはやっぱり残しておくのがすごく大事だと思いますので、どこかの国の会議のようにどこかに行ってなくなったとかいうことがないように、出せと言われたらちゃんと出せるようにということも含めまして、きちっとやっていただければと思います。よろしいでしょうか。

この件、今ちょっと私が勝手にべらべらしゃべってしまいましたけれども、よろしいでしょうか。

私のほうから今気になっているのは、今の会議の進め方が少し気になっていましたのでご相談させていただきました。皆さんのほうで何か、どうぞ。

○委員

市役所の方で、会議というのは今のところ何人ぐらいまでだったら何とかいけているとかあるのでしょうか。10人ぐらいの会議だったらいいとか、これぐらいでもいいんだとかになっているのでしょうか。その辺がちょっと分からないんですけれども、人数ですね。部屋の大きさと人数がどれぐらいだったら会議してもよろしいというようなそういう指針があるのでしょうか。

○事務局

一応部屋の使い方という部分で定員というのが決められている部屋については、その半分と定められているという形になっています。あとは状況によって考えていく部分はあるかもしれませんが、基本的に半分ぐらいということですよ。

○委員

というのは、例えば市役所で三つぐらいの部屋に分かれてということはできるのですかね。今、答えは要らないと思いますけれども、そういう分散して、それでとってやるのでしたら割かし簡単にシステムがつくれると思うんですよね、市役所内だけでやったら。そういうこともちょっと候補に入れて、そう決めてくださいということではないんですけれども、そういう換気のこともあるのではないかと、10人ぐらいずつで分かれてブロックで学識経験者、住民地区の代表の方々、行政の方々、三つぐらい部屋に分かれて1回でしてしまうとか、そういう方法は可能ではないかとふと思ったんですけれども一応ご検討を。

○委員

今の件に関して、教育委員会がここで開かれているのですけれども、教育委員会の教育委員と関連の課長等、ここいっぱいになるんですね。ちょうど今のような状況でこれではまずいということで、教育委員とあと何人かの幹部職員が集まって、あとはもう自分の部屋でやるという形でこの前やりました。だから全員ここに座るとするのは、これだけ密になっているというのは多分あまり例がないと思いますね。

○委員

それなら少しましではないかなと思って、やりやすいとは思いますが。

◎委員長

条件一つ、今は密にならないようにというので一部屋というか、その部屋に入る人数を少し絞って減らしてやるというのはほかのところでもやっていますので、大きな部屋で一部屋でできる場所があれば別にそこでやってもいいんですけれども、そういうのがなければ少しそういう分散をして、逆に言ったらオンラインできる人は別の部屋でやっていただいて、あとはどうしてもここでやらないといけないとか、あるいはできないという人がここへ来ていただくという方法でもいいかも、ちょっと分散してということで会議の進め方が結構それを仕切る人が結構大変という、実際問題としては。完全全部オンラインでやるとそれはそれで比較的楽なんですけれども、それを混ぜてやるのは結構大変は大変ですし、部屋が分かれているのであれば設備が少しいるかも分かりませんし、すぐというのは。

○委員

音声だけでもいいかもしれませんね。

◎委員長

そうですね。今回コロナですけれども、また今後どういうことになるか分からないので、そういう設備的なもので遠隔でも少しできるようなというのは、多分それぞれの自治体でも十分考えられていると思いますけれども、設備とかスキルの問題とかありますので、その辺のところはここは川西市役所で多分そういうものを考えていただくしかないんですけれども、

どこの団体というか大学も含めてなんですけれども、ちょっと今回の件で大学は考え方を変えないといけないということは自分も分かっていますので、大学のほうも授業は先ほどお話ししたように全部オンラインに基本的には変えて、最初はどうなることかと思ったんですけれども、一応取りあえず前期は終わって後期が一応スタートしかけていますので、その中で少しずつ変えていくというか、走りながらやっていくしかないので、あとは設備的なものでお金がかかるものはやっぱり入れていただく、場合によっては市のほうで持っているのを少し使わせていただくという形にもなるかと思えますので、その辺も含めて今後もあんまりよくないですけれども、何かの関係で前と同じような状況にまた陥らないとも限らないので、場合によっては顔を会わさなくてもいいようなあれであれば少しそういう形で時間とかお金とかの短縮にもなりますので、学会なんかは今オンラインで基本的に大きな学会は全部やっていますのでそういう意味で。時間は、私は出張とか行かなくて済むので、時間の短縮とかお金の短縮にはなっているんですけれども、議論するのがなかなかやっぱり難しいですね。自分が参加している感想としては、特定の人にはしゃべっているんだけど、あるいは仕切っている人はずっとしゃべらないといけないというようなことになって、その場の全体の状況とか雰囲気はなかなか分かりにくいということもありますし、議論を少し深めていくということもなかなか難しいということもありますので、やはりこういう対面式でやるというのはかなり伝えられる情報量とか、あるいはいろんなことを決めていく上ではシステムとしては本当にいいシステムだと思いますけれども、なかなかそれがかなわない場合はほかの方法でいうことで。

それでは至急検討いただくということで、ほか何かよろしいでしょうか。

今日はコロナの関係で少し間が空きましたし、ちょっと今のお話を最後させていただきました。今日はこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

○事務局

先ほどもお話にありましたけれども、次は12月に予定をしておりますので大体中旬から下旬にかけての部分での開催を予定しております。また日程が決まりましたらご報告させていただきますので、またそのときはよろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

19時30分 閉会